

# ながい 議会だより



水遊びだいすき！

**6月議会定例会**  
臨時会

②

**町づくりを問う**  
一般質問6人が登壇

④

**ぎかいトピックス**

⑩

議会メールアドレス



**第184号**

平成30年8月1日発行

神奈川県中井町議会

# 6月定例会

6月5日～8日  
(4日間)

## 主な審議内容

一般質問	6名	8問
条例改正	3件	
補正予算	1件	
報告	1件	

## 条例

◎中井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

省令の改正により、放課後児童支援員の資格要件が拡大されたことなどから、所要の改正をするもの。

問 「5年以上放課後児童健全育成事業に従事した者であって、町長が適正と認めた者」とは、どのような人が該当するのか。

答 中学校卒業であっても5年以上児童を含め、類似する事業の経験後、県の指定する研修を修

了した方は、資格を有すると改正した。

◎中井町国民健康保険条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、課税限度額の引き上げ、低所得者の保険税軽減対象の拡充、保険料率の改定を行うもの。

問 保険料総額で3%の引き上げだが、全体でいくらの増額か。

答 720万円ほどの増収増を見込んでいる。

## 補正予算

平成30年度一般会計補正予算(第1号)  
87万9千円の追加  
総額3億7987万9千円に

補正の主な内容は、歳出では、総務費・衛生費で、職員の人事異動等に伴う非常勤職員雇用に係る経費を追加。農林水産業費で、地籍調査事業について国の平成29年度補正予算を受け、事業費を翌年度に繰り越したことに伴い、平成30年度当初予算に計上した関係事業費を減額。歳

入では、県支出金で地籍調査事業補助金を減額し、不足額は前年度繰越金を追加することで収支の均衡が図られた。

○総務費・衛生費  
問 非常勤職員の雇用経費増額ということだが、この6月での補正とは、どのような見通しであったのか。当初予算で計上すべきではないか。  
答 全体業務の見直し、突発的な要件から補正となった。手続

きに甘さがあったかと思う。今後このようなことが無いよう取り組んでいく。

### ○農林水産業費

問 地籍調査費について、昨年度補正により、繰り越した額を今年度予算からそっくり減額しているが、2年分の事業を進めても良いのではないか。  
答 この事業は10か年計画で進めている。2年分を1年で実施することは、計画上も、今の人員体制でもできないのが現状。

## 報告

平成29年度中井町一般会計  
繰越明許費繰越報告

繰越額 804万8千円

国の補正予算を受け、平成29年度一般会計補正予算で計上した「地籍調査事業」について、年度内に事業が完了しないことから、平成30年度に繰り越し、その執行に係る経費について報告を受けた。



問 今後、町として国保運営にどう努力していくのか。  
答 保健事業、医療費の適正な取り組みに努める。

問 一般会計からの独自繰入額を減額しなければ、保険税の値下げも可能ではないか。  
答 町全体の健全財政運営のため、減額せざるを得なかった。

中井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

条例に  
対する  
反対討論

尾尻孝和 議員

今回の国民健康保険税の改定は、資産割を従来の半分を抑える一方で、所得割は7.6%から8.69%へ、1.09ポイント増

現在の1.14倍となり、家族一人あたりの均等割は800円増、4人家族では3200円の負担増となります。

資産割の廃止を展望した、今回の半減を評価します。しかし、その一方で、所得割と均等割の増税提案となっており、全体平

均で3%アップ、総額720万円の増税提案となっています。

高い国保負担を少しでも軽くしようと地方自治体が一般会計からの独自繰入に取り組んでいます。中井町でも昨年度予算で6000万円の町独自繰入を計上していましたが、今年度は3500万円。一気に4割以上2500万円も削ってしまいました。

今回の値上げ総額が720万

円。独自繰入を削らなければ、値上げが必要なくなるばかりか、資産割や均等割の引き下げなど、国保税の値下げも可能になります。

現に、県下6つの自治体が引き下げをおこないました。

所得の少ない人、高齢者が多く集まっている国保。健保組合より7割も高い保険税で苦しんでいる国保加入者、この実態の解決から逆行する、今回の国保税値上げの条例改定に反対します。

第2回  
臨時会

7月11日

契約の締結  
1件

工事請負契約の締結について

(平成30年度防災行政無線設備

デジタル化工事)

契約金額 1億3230万円

屋外拡声子局全30局のうち、昨年度に設置した1局を除く29局をデジタル設備に更新する工事。

問 特殊な事例であると思うが、なぜ随意契約としたのか。

答 契約の目的・内容に照らし互換性・整合性を保つため、昨年度請け負った業者と契約することが適切と判断した。

問 随意契約により、過大に支払うことにならないのか。

答 設定した予定価格の89.8%の契約金額であり、適正な執行であったと考えている。

問 デジタル設備の更新が終了し、共用できるまでの予算見込み額は。

答 4年計画に見直し、総額4億5千万円と考えている。

議会を傍聴しませんか

次回の  
定例会は 9月4日 午前9時 開会予定

湘南ケーブルテレビにて放映されます 102チャンネル 生放送

議会傍聴席は役場庁舎3階です  
詳しくは議会事務局(☎81-3905)まで

審議した議案等と審議結果

平成30年第2回定例会

提出者	議案名	議員名	議決日	審議結果	加藤久美	井上泰弘	峯尾進	庄司征幸	尾上壽夫	尾尻孝和	戸村裕司	原憲三	森文嘉	小清水招男	成川保美
町長	中井町税条例の一部を改正する条例		6/8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例		6/8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
町長	中井町国民健康保険税条例の一部を改正する条例		6/8	可決	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○
町長	平成30年度中井町一般会計補正予算(第1号)		6/8	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	●

平成30年第2回臨時会

町長	工事請負契約の締結について (平成30年度防災行政無線設備デジタル化工事)		7/11	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	●
----	--	--	------	----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

※岸 光男 議長は採決に加わりません。○は賛成、●は反対を表しています。

一般質問

# 外国人との 多文化共生社会の取り組みは



峯尾 進 議員

## 町長 相互理解で地域社会の実現に取り組む



今年度設置された国際教室の様子（井ノ口小学校）

我が国の外国人登録者数は約208万人となり、総人口の1・63%を占めております。また訪日客数も2020年には4000万人を目標としており、増加する外国人とどのように向き合い、多文化共生を図る事などが課題です。本町では2077人の在留外国人が生活をしており、今後、人手不足や家族等の呼び寄せ、観光などにおいて、外国人との接触や交流機会が増えることなど想定され、環境整備が必要となることから次の質問をします。

**問** 多文化共生に向けた意識調査を行う考えは。

**答** 現段階では行う予定はありませんが、今後必要に応じて実施していきたいと考えている。

**問** 在住外国人子弟に対し教育分野での言語指導と就学支援の取り組みは。

**答** 日本人と同一の教育を受ける機会を保障し、本年度からは井ノ口小学校と中井中学校に「国際教室」を設置し、日本語指導員・学習支援員などが連携して支援を進めている。

**問** 災害時の安否確認・情報伝達・避難誘導など安全の配慮と防災体制は。

**答** 外国人の方も避難行動要支援者の対象としており、必要な方には、窓口・民生委員等を通して登録している。防災ガイドブックは多言語対応したものを作成して対象者に配布、必要に

じ説明の場を設けていきたい。

**問** シティプロモーション事業にインバウンド（訪日外国人）の施策を取り入れる考えは。

**答** 町単独ではなく、県や周辺自治体と連携して取り組む。

**問** 町の人口は8年で527人減少しているが、外国人は逆に211人増加している。町の定住促進策に外国人もカウントされる認識なのか。

**答** 定住促進策として分けた取り組みではないが、外国人をターゲットにした事業展開として行っていない。

**問** 地域の国際化・多文化共生などタウンセールスをしていく上での交流社会の接点づくりは。

**答** 現状では接点が少なく、町として重点的に捉えていない。国際交流クラブについては、今後の課題として捉え考えたい。

**問** 外国人雇用に対して企業の人事担当者などの接点は。

**答** 現時点では企業との間で人

事、就労に関しての接点はない。

**問** 町には25人の児童・生徒が在籍しています。「国際教室」が本年から出来て、どのようなところに力点をおいて児童・生徒を教えているのか。

**答** 日本語能力を高め、生活習慣や日本文化など学ぶ機会を設け、児童が適応できる状況を提供することを主眼においている。

**問** いじめや外見などの偏見にどのように注意して取り組んでいるのか。

**答** いじめアンケートの実施など未然防止・早期発見・早期対応に努めている。

**問** 外国人が日本の何を見たいのか体験型に変化している中で、在住外国人に意見を求めインバウンド施策を検討する考えは。

**答** 一つの手段として検討する。

**問** 町民の理解を得ながら、今後大きなビジネスチャンスと捉えて積極的に取り組むことを期待します。

一般質問

# 杉山町政3年半の成果と 今後の取り組みは



原 憲三 議員

## 町長 第六次総合計画について誠心誠意進めていく

平成26年11月に杉山町政が誕生しました。「夢と実現性」のある「中井みらい計画」を提案され町長に当選されました。平成30年1月の後援会会報で「3年間の歩み」が報告されています。これまでの公約の成果と今後について伺います。

**問** 防災・減災対策では、一向に身体障がい者向けの訓練はされないが、今後、どのように考えるか。

**答** 災害時、障がい等をもった方々に対しては各々がおすまいの身近な地域における支援や手助けがより現実的であり、必要であることから、総合防災訓練において、各自治会で把握されている避難行動要支援者の安否確認等の訓練もお願いしているところです。

**問** 町長公約の進捗状況について「一部未着手の事業もある」と答弁されたが、その事業は何か。今後どう取り組まれるのか。

**答** 選挙公約につきましても、概ね達成や着手済みの事業となっておりと考えております。

**問** なお専門部署の設置については職員の効率的・効果的配置も考慮した上で慎重に判断していきたいと考えております。



町政の拠点 町庁舎

ので、また改めて考えていきたいと思っております。

**問** 会報では町民会議の設置において、「町民みらい会議のワークショップを実施（まちづくりカフェ、シティブロモーション等）今後案件ごとに実施予定」とありますが、どのような案件を想定されるか。

**答** 町民の意見や要望を行政に反映させ、町民と行政が一緒になってまちづくりを進めるべく、なかいまちづくりカフェやシティブロモーションワーキングなど開催し、町民からまちづくりのため提案をいただいています。

**問** 「空き家バンク制度」では、宅建業者との提携もよろしいですがその先として、子育て世代に向けた町営住宅の建設などの考えは。

**答** 昨年度より「子育て・若年夫婦世帯空き家改修事業補助金」を創設し、手厚い住宅改修費補助、学校給食費、保育料一部助成、今年度は所得制限付きで、第2子の保育料無償化など、子育て家庭への経済的負担の軽減、各種の子育て支援の充実に努めている。

**問** 町長の当初の話の中で、職員研修も公約の一つとしてあったと思いますが。例えばホテル研修とか、必要だと思えます。課長でもきちんと挨拶ができない方もいます。ごく一部だと思います。是非とも実行していただけますか。

**答** 就任したときの最初の挨拶、そこではお話しさせていただきました。3年半がたちましたけれども、気持ちは変わりません。

**問** 中井誕生110周年・町制施行60年となる節目の年、「110年のまちづくりから、今新しい未来へ」をキャッチフレーズに、将来を見据えた政策を検討していきたいと会報で挨拶、2期目町政への考えでよろしいか。

**答** 誠心誠意、取り組んでいきたいと思っておりますので、前向きに取り組んでいきたいと考えております。

一般質問

# 防災無線デジタル化 戸別受信機は無償貸与で

他 1 問



尾尻 孝和 議員

## 町長 希望する全世帯へ無償で貸与

**問** 現在も無償貸与している戸別受信機は、今回のデジタル化総入れ替えにおいても、全戸に無償貸与すべき。

**答** これまでと同様、希望する全世帯へ無償で貸与する計画。

**問** 今年の3月27日、消防庁が防災行政無線等の戸別受信機の標準的なモデル等のあり方に関する検討会報告書を公表。価格を従来の5〜6割に抑えたモデルの生産につなげ、普及を目指すとしている。

**答** この生産を待つて戸別受信機の貸し出し検討がされたことで、8000万円ほど安くなるということか。

**答** 当初の戸別受信機を約4万5000円程度で見込んでいたが、2万円程度に見込み直した。

### 利用しやすい図書館へ

**問** 人口規模を考えれば、中井町の蔵書数は、それほど遜色なく年間255万円かけてたくさんの本を購入している。本棚に

置かれたまま、開いてくれる人がなく、静かに眠っている本がいっぱいある。要因をどのように見ているのか。

**答** 蔵書の数、施設等の面積、職員の数、そのトータルの中で図書室の利用度が決まってくる。

**問** 1カ所書庫を確保する。2つの図書室には図書館司書が対応するフロント機能を持たせ、パソコンやスマホで検索や予約

### 各町図書館の現状

	蔵書数	年間図書購入数	年間貸出数は、蔵書数と比べる%	貸出登録者数は、人口と比べる%	人口(約)	専任職員	非常勤職員
中井町	冊 54,527	冊 1,134	% 38	% 5	人 9,500	人 0	人 2
二宮町	冊 216,031	冊 2,991	% 99	% 130	人 28,000	人 3	人 20
松田町	冊 74,887	冊 1,666	% 51	% 49	人 11,000	人 1	人 6
真鶴町	冊 52,779	冊 235	% 69	% 50	人 7,500	人 1	人 3

データは「神奈川の図書館2017」、中井町は改善センターと井ノ口公民館の直近数値。

ができる。予約した本は、翌日ないし翌々日には希望する図書室で受け取り、また返却もできるようにしたらいかがか。

**答** もちろん誰もが改善センターや井ノ口公民館、開架式の書棚から自由に選び、その場で読むことも借りることもできる。

**答** 図書の検索、予約、貸し出しから返却まで、蔵書管理のシステム化が必要と考える。

**答** 電算化に向けては、財政的な負担もかかるということなので、今後検証してまいりたい。

**問** 多くの図書館がDVD、CDをそろえている。このサービスを取り組むことで、市民の要望に応えることになる。図書館利用が一層進むのでは。

**答** 提案される内容は十分理解する。財政的な問題もあるため、今後検討する。

**問** 蔵書のリストを配布し、電話で本やDVDなどを予約する取り組みは。

**答** 検討させていただきたい。

**問** 現在の職員体制は。

**答** 改善センターは、週に1回、非常勤の司書を配置している。

**問** 県内32市町村の図書館で、

**答** 電算システム化していないのは中井町だけ。今まで生涯学習施設建設の中に位置づけていたが、建設は当面なくなった。現在の図書室を活用した電算システム化に、直ちに取り組む考えは。

**答** 県内中井町だけということでは認識している。できるだけ早目に進めていきたいとは思いますが、一応財政との絡みを含めて。

**問** システム化した小さな図書館、市民が親しみ、愛される図書館、電話での予約や配本サービスなど、小さな町の図書館だからこそ取り組めるサービスもある。新たに建物を建設しなくても、たくさんの方々に利用され、市民の暮らしに溶け込んだ図書館、これは可能では。

**答** 改善センターを含めて考えていきたい。

一般質問



成川保美 議員

# 公約のトータルの達成率は

**町長 50%を超えている**

4年前の杉山町政誕生の時に、政策を確実に実行し、財源も施策も明らかにする。実現性を優先した「公約」は2〜3年で50%以上、4年で100%達成を目指す」と町民に約束された。

リストを育成。町に有利な結果をもたらすとの約束は。  
**答** 渉外担当部署の設置に至っていない。職員の効率的・効果的配置も考慮し、慎重に判断。

**問** 町の持ち出し額は最高いくらまでと考えるか。  
**答** 事業計画を精査し、減歩率が出て、地権者同士が納得できる数字というところ、今のところ2億円〜3億円程度。町からの支援が少ないと減歩率は上がる。

円、多くても8000万円の可能性。償却資産と家屋については、進出企業により異なる。  
**問** もし、産業拠点が形成されず、税込確保がなかった場合、6年後は誰が責任をとるのか。  
**答** 結果として問題が発生することになれば、町としての責任

**問** 町民会議を町長直轄の諮問会議とした必要性は。  
**答** 意見を聞きながら政策に反映できるという考えがあった。

**問** 仕分け作業を実施されずに5%〜10%削減はできたのか。  
**答** 仕分け作業ができなかったのは事実。5%〜10%の金額は、はじけない状況。

**問** 企業誘致に対する具体的計画、誘致ターゲットはあるのか。  
**答** 今の時点では、企業進出があるという話にはなっていない。

**問** 当然、生涯学習センター建設の延期を判断された時、改善センターの延命化やバリアフリー、エレベーター、トイレ問題等を議論されたと思うが、その内容と経緯は。  
**答** 改善センターをどういう形にするか、結論に至っていない。

**問** 町民会議での意見をダイレクトに反映する仕組みとは。  
**答** 町民会議としての設置には至っていない。施策に対しての反映は具体的に見当たらない。

**問** 子育て支援世代の施策を進めてこられたが、定住促進に繋がっていると判断するか。  
**答** 報告を受けていない。数字はでていない。

**問** 開発による税収、納税額は。土地分について1500万  
**答** 開発による税収、納税額は。土地分について1500万

**問** 町民の民意を反映するという事についての考えは。  
**答** 民意を反映するという部分においては、どうやって答えたいのかわからないが、反映したいけれども反映できない部分もある。最終的には私の方で判断するしかないと考えている。

**問** 定住促進を促すよりもまず先に、中井町に住んでいる皆さんの豊かさを追求する事が肝要ではないか。中井町に住んでいる人達の満足度を重視する必要性についての見解は。  
**答** 今の部分では、今の事業を進めていくしかない。

**問** 諏訪地区開発の総額は。  
**答** 組合の立ち上げに影響があるので回答は控える。

**問** 公約のトータルの達成率の間に、おおむね達成との答弁だが、おおむねというのは何%か。  
**答** 50%を超えていると判断。

**問** 独立した部署としての渉外担当を設置し、交渉のスペシャ

**問** 諏訪地区開発の総額は。  
**答** 組合の立ち上げに影響があるので回答は控える。

**問** 公約のトータルの達成率の間に、おおむね達成との答弁だが、おおむねというのは何%か。  
**答** 50%を超えていると判断。

**問** 公約のトータルの達成率の間に、おおむね達成との答弁だが、おおむねというのは何%か。  
**答** 50%を超えていると判断。



ボロボロな改善センター内事務室

一般質問

# 子育て環境と教育について問う



加藤 久美 議員

町長 魅力ある教育・学習施策の推進に努めている

より良い子育て・教育環境の整備は、個々においても町の未来においても重要と考える。町民や子どもたちにとって有意義なものになっているのか。

**問** 通学路の安全確保は大変重要。関係機関や地域・保護者・子どもたちを含めた危機管理体制は取られているのか。

**答** 通学路の安全確保を目的とし「中井町通学路安全推進会議」を設置。合同点検、危険箇所の特定など、一連の作業を行い、内容の改善など充実を図っている。今後も関係機関と連携し、通学路の安全対策を積極的に進める。

**問** こども園の入園者数が年々減少している。その要因は何か。選ばれる、魅力ある園づくりへの取り組みと課題は。

**答** 保育教諭間の連携不足、行事が少ない等の意見が多く寄せられている。園と十分協議し、改善に向け努力する必要がある。

**問** 園が民間であれば大変な死

活問題。保育の質を上げる仕組みと取り組みの結果は、子どもの利益、保護者との信頼関係へと繋がるかと考えるが。

**答** 専門研修の充実を図り、保育教諭の資質向上に取り組む。保護者から選択される園運営を旨とする。

**問** 給食費や学用品などの一部を助成する就学援助金受給者数が町内でも年々増え、子どもの貧困率が増加していると考え、町の支援と取り組みは。

こども園 入園者数 (人)

年度	H27	H28	H29	H30	2019	2020
入園者数	46	33	21	20	—	—

中井町 出生者数 (人)

年度	H24	H25	H26	H27	H28	H29
出生者数	46	37	43	43	35	42

**答** ひとり親家庭など、生活等の支援が必要な世帯については手当の支給だけではなく、生徒の日常生活や、異変にも気を配りながら家庭の状況を把握。必要に応じて福祉関係機関等へ緊く対応も進めている。

**問** 育英奨学金の予算が事業実績に伴い予算減となった。学業成績が優秀という条件により申請に至らなかったのでは。何のための制度なのか見直す必要があると考えるが。

**答** 昨年度は、2名がこの条件に合わなかった。教育委員会としては、成績も重要な条件の1つと考えている。能力が十分ある方を支援する制度と捉えている。

**問** 教員の働き方改革や生徒数減少などの問題から、全国的に部活動のあり方が問われている。中学校における部活動を町は今後どのように考えているのか。

**答** 教育委員会は、国の部活動に関するガイドラインや、県の方針を参考に効果的、計画的な部活動のあり方について検討。

**問** 中学校から保護者へ部活のあり方について通知文が配布された。通知内容について再度検討を行う必要があるのでは。

**答** 部活動は教育課程の一環。生徒の意向、ニーズ等を参考に、校長が責任を持って教育課程を編成する。

**問** 町の歴史文化を後世にどのように継承するのか。学生が参加し研究を深めることで地域への興味や愛着が生まれる。大学へ学生の参加を呼びかけては。

**答** 古文書解読作業員と相談し検討はしたい。

**問** 文化意識を高める作業があまりされていない。教育の環境を整えるということは、未来をつくる子どもたちの重要な財産となるが。

**答** 古文書の一部解読した内容は、中井町郷土資料館特別展で発表し「中井町史」編さんに向けた体制作りを図る。



一般質問

# 「縮充」の公共施設 再編計画の推進を

他 1 問



戸村 裕司 議員

## 町長 今年度は町の方向性、案的なものを策定

町では公共施設等総合管理計画を定めたが、計画策定後の一歩が見えない状況が続いている。複合化や多目的化も含めた「縮充」の計画実現には、施設所管課の縦割りを超える公共施設マネジメントが必要と考える。

**答** 行動計画はあくまでも現在の段階では、今ある施設、それを極力残していきたいという考えの中で策定。

**問** 公共施設再編の進捗状況は。

**答** 推計、判断できるものは、持ち合わせていない。

**答** 今年度は庁内推進会議等により、施設のあり方や長寿命化の検討を進め、平成31年度以降には、委託による施設の劣化度調査等を実施し、2020年度までに国から要請されている個別施設計画の策定につなげていく。

**問** 劣化度調査を早めにして、費用がどの程度かかってくるのか。

**答** 大規模事業に経費を充当するものについて、もう少し詳細な財政推計を立てた中で、実施していかなければいけない。

**問** 公共施設等総合管理計画では、2つの計画をつくるとしているが、再編成行動計画はどのようなものか。

**答** 今年度は予算計上していないので、全体的な町の方向性、案的なものを策定する。

**問** 長寿命化計画に取り込む島渥生公園の再整備をモデルケースとすべきでは。

**答** 木道部分は設置から15年が経過し、劣化度調査等を実施しながら更新計画や対策費用の整理を予定している。町としても先行事例として事業を進める。

**問** 再編成行動計画に、統廃合あるいは多様化、多目的化は含んでいくのか。

再編成行動計画に、統廃合あるいは多様化、多目的化は含んでいくのか。

### 地球儀を傍観するだけの五輪か

東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向け、国では地方公共団体に、参加国・地域との相互交流を図るホストタウンを求めている。「参加することに意義がある」に端的に示されるオリンピック憲章の実現に対し、町は町民とともに五輪に参加する選手と選手団を支え応援する意義を持っている。

**問** 東京五輪に対する町の取り組みは。

**答** 町単独での取り組みとしては行っていない。県との連携や広域的取り組みのなかで、町として関われる事案などについて調査研究に努めていきたい。

**問** 児童・生徒がオリンピック、パラリンピアンから学ぶ機会への取り組みは。

**答** この機会を絶好の機会ととらえ、ぜひ学校教育に生かしていきたい。

生涯の記憶に残るような経験となるよう支援していく。

**問** 町や町民にかかわりのある国・地域のホストタウンとして、交流、事前キャンプの受け入れを行う考えは。

**答** 大会まで残り2年と迫ったなかで、受け入れ施設や宿泊施設、協力体制の構築など、クリアしなければならない課題も多く、受け入れは容易ではない。

**問** 形よりあり方の問題。インバウンドのレッスンにもなる。  
**答** ホストタウンとして求められているものもあるのは事実。



平成10年秋のかがわ・ゆめ国体ソフトボール  
中井町広報より



# ぎかい トピックス

## 藤沢自治会の皆さんと意見交換の場 議会広聴委員会が初の取り組み

町民の皆さんの生の声、率直な思いを議会や町政に反映させようと、議会広聴委員会では、今年度、自治会単位での意見交換を各自治会長に呼びかけました。

これに対し、いくつかの自治会から応募をいただき、去る6月24日、藤沢自治会の皆さんと同自治会館で、はじめての意見交換の場がもたれました。

自治会単位の意見交換の場は、現在3自治会、1地域で予定されています。その皮切りとなった藤沢自治会では、近年全町の

「空き家問題」がテーマとなり、自治会から16人、議長と議会広聴委員5人が参加しました。

藤沢自治会長は、開会時のあいさつで「ここ1、2年でも空き家が増えている。新規就農者が入り、積極的に協力してくれているが、高齢化に伴い、お祭りの山車(だし)の運行ができなくなることが目に見えている。」と話し、「自分たちが何を悩み、何を改善してほしいかを議員にぶつけてみることも良いのでは。」と、参加者にさっくばらんに発言してほしいと呼びかけました。



その後、広聴委員会から、町の空き家対策として、平成28年の「空家調査報告書」や、空き家バンク制度、空き家改修補助金などの概要を報告しました。

これに対し、「取り引きする当事者同士まかせにしないで、きめ細やかな町の対応が必要。」「町が物件を借り上げて貸すといった対応ができないか。」などの意見が出されました。ひとつひとつが異なるケースと言える空き家のマッチング等に、他町の例も踏まえながら、まだまだ工夫の余地があることが見えてきました。

そのほかにも地域の課題が出されました(以下抜粋)。

**問** 市街化区域に戸建住宅が増え、ゴミの集積所に収集ボックスの増設を町に要望したが、ネット状のものしかなかった。

**答** 収集ボックスは重く、蓋の開閉に危険が伴うこともあり新たな作製はしていない。新規の場合はネットで対応をお願いしている。

**問** 町の避難所宿泊訓練に参加し、良い経験ができた。元気なお年寄りが、災害時を含めて町の活動の一環となるような組織化を検討しては。

**答** 災害後、職員も通常業務に戻る。元気な高齢者の協力も含め、避難所運営を考えたい。

藤沢自治会の皆さん、ご協力ありがとうございました。

## 永年勤続 町村議会議員 徽章着用表彰



中井町議会では、3名の議員が、町村議会議員として連続11年以上にわたり、その職務に精励し地方自治の発展に寄与された功績が称せられ、神奈川県町村議会議長会長より、永年勤続町村議会議員徽章着用表彰を受けられました。

写真右から

- 原 憲三 議員
- 岸 光男 議長
- 森 丈嘉 議員

# 平成29年度議員に係る政務活動費の収支報告

政務活動費は、地方自治法の規定に基づき、議員の調査研究に資するため必要な経費の一部として、議員1人当たり月額1万円が交付されています。

(単位：円)

議員氏名	支 出 額							支 給 額 (交付額)	収 支 差引額 (返還額)	主 な 支 出 内 容
	①調査 研究費	②研究 研修費	③資料 作成費	④資料 購入費	⑤ 広 報 費	⑥ 広 聴 費	⑦ 事 務 費			
加藤久美	12,350	13,880	560	15,412	112,268		4,845	159,315	120,000	①視察旅費(北杜市・御殿場市) ②研修参加費 ③資料作成費 ④新聞・雑誌購読料他 ⑤広報紙発行費 ⑦事務費役務費
井上泰弘	69,446			52,628				122,074	120,000	①視察旅費(伯耆町・八頭町・奈義町) ④新聞・雑誌購読料他
峯尾進	69,446	2,000		14,930				86,376	120,000	33,624 ①視察旅費(伯耆町・八頭町・奈義町) ②研修参加費 ④新聞・雑誌購読料他
庄司征幸	69,446	31,450		36,864			540	138,300	120,000	①視察旅費(伯耆町・八頭町・奈義町) ②研修参加費 ④新聞・雑誌購読料他 ⑦事務費役務費
尾上壽夫				107,858				107,858	120,000	12,142 ④新聞・雑誌購読料他
尾尻孝和				51,840	74,772			126,612	120,000	④新聞・雑誌購読料他 ⑤広報紙発行費
戸村裕司	73,336	2,920		48,473				124,729	120,000	①視察旅費(伯耆町・八頭町・奈義町) ②研修参加費 ④新聞・雑誌購読料他
原憲三				113,836				113,836	120,000	6,164 ④新聞・雑誌購読料他
岸光男	69,446			91,657				161,103	120,000	①視察旅費(伯耆町・八頭町・奈義町) ④新聞・雑誌購読料
森丈嘉	72,532			43,202				115,734	120,000	4,266 ①視察旅費(伯耆町・八頭町・奈義町) ④新聞・雑誌購読料
小清水招男				56,316				56,316	120,000	63,684 ④新聞・雑誌購読料他
成川保美	71,446	34,450		33,024				138,920	120,000	①視察旅費(伯耆町・八頭町・奈義町) ②研修参加費 ④新聞・雑誌購読料

掲載は議席順です。詳細は議会事務局にあります。

## 政務活動費の主な用途基準

○収支報告は、条例や申し合せ事項等の用途基準に従い、領収書原本や資料等を添付して議長に提出します。

残額が出た場合は、町に返還します。

- ① 調査研究費：視察を行なった場合の交通費等関連支出が認められます。昼食や土産代は該当しません。
- ② 研究研修費：自ら主催した研究会の経費や団体等が開催する研修会等への参加費など。
- ③ 資料作成費：調査研究活動に必要な資料作成に要する経費。
- ④ 資料購入費：図書購入や新聞雑誌購読料(読売・毎日・産経・神奈川の各新聞は除く)、会議録の購入費など。
- ⑤ 広 報 費：原則全戸配布の広報紙・報告書等の印刷費や送料など。
- ⑥ 広 聴 費：町民から町政や政策等に対する要望・意見を聴取するために必要な経費。
- ⑦ 事 務 費：事務用品や通信費、振込手数料などですが、名刺の印刷費は認められません。

# 議会のページ

## 5月

- 1日 文教民生常任委員協議会
- 8日 総務経済常任委員協議会
- 10日 総務経済常任委員会視察  
(松田町)
- 22日 委員長 副委員長 研修会
- 29日 議会運営委員会

## 6月

- 5日 定例会本会議
- 6日 総務経済常任委員会
- 7日 文教民生常任委員会
- 8日 定例会本会議

- 15日 広聴委員会
- 24日 広聴委員会意見交換の場  
(藤沢自治会)
- 26日 議会だより編集委員会
- 29日 議会運営委員会
- 広聴委員会

## 7月

- 9日 議会だより編集委員会  
臨時議会
- 11日 議会全員協議会
- 17日 議会だより編集委員会



### 総務経済 常任委員会

所管事務の調査・研究をしました。

「生活交通対策事業について」 オンデマンドバスの運行について、4月から町内のみの運行となり、利用者数、予約の状況などデータによる傾向を確認するため、担当課から説明を求めることを決め、引き続き調査・研究を行うこととしました。

### 委員会から報告します

「公民連携について」 先進事例として、足柄上郡松田町の公民連携事業の推進状況について、説明を受けるとともに「寄つ星ドッグランの運営について」現地施設を視察しました。アドバイザーを設置し相談体制を整える、産・官・学・金の各関係者が参加する地域協議会（プラットフォーム）の設置を基に住宅整備事業、公有地の売却、空き家バンク制度等に公民連携の手法を取り入れたまちづくりについて説明を受けました。本町でも企業との包括連携協定締結や公設民営による里都まちCAFÉの運営等の連携が見られるが、町のPR・活性化を深めていくため、継続して調査・研究することとしました。

### 文教民生 常任委員会

「インター周辺の土地利用について」 秦野中井インターチェンジ周辺の土地区画整理事業と土地改良事業について4月以降の進捗状況を把握するため、担当課より説明を求めることを決め、引き続き調査・研究を行うこととしました。

「今後の図書室のあり方について」 新たな所管事務の調査・研究事項として、農村環境改善センター・井ノ口公民館、それぞれの「図書室のあり方について」に決定しました。生涯学習センター建設にともないシステム化した図書室の開設が計画されていましたが、建設延期が決まったことで、県内において、本町が未だ電子化できていない現状など課題を再確認し、町民の皆さんに親しまれる中井町に即した図書室のあり方について、検討していくこととしました。

## 編集後記

今、藤井七段や羽生永世七冠の活躍で、将棋界が注目されています。将棋には、ゲームという側面だけではなく、昔から語り継がれてきた格言や、棋士が残した名言などにも、非常に興味深いものがあります。

今でも人気の高い故升田幸三棋士は、「上手も下手も我が師なり」という揮毫を残しています。どのような相手からも、師に対するよつに学べ、参考にしよつとする姿勢を表しています。当時、三冠を独占し、絶頂期にあった棋士の言葉とは思えないくらい、謙虚な姿勢ですね。

当議会では、広聴活動の一環として、各種団体との「意見交換の場」を設けています。いたいた「我が師」からの意見に、謙虚に耳を傾け、参考にし、対応していきたいと思えます。ご応募お待ちしております。

余談になりますが、私は、たまに趣味で将棋を指します。もしよかったらお相手して下さい(笑)。

(庄司)

#### 議会だより編集委員

- 委員長 加藤久美
- 副委員長 尾上壽夫
- 委員 井上泰弘
- 委員 上尾進
- 委員 井上幸
- 委員 井上征

## 町民の声

内藤千秋さん (大久保)

私は毎年、五所八幡宮例大祭を楽しみにしています。小学生から囃子の練習をして、太鼓を覚える嬉しさや山車に乗る楽しさがあり、夢中になりました。中学生になり、あこがれだった篠笛に挑戦しましたが、楽譜は無く指使いで音源を探りながら吹くことはとても難しく、苦戦しながらも、父と妹と一緒に練習をしました。始めて山車に乗り笛を吹いた時は、とても感激したことを今でも覚えています。

囃子の篠笛のおもしろさは、上限が無く、奥が深くやればやるほど、次の課題やもつとまくなるはずという欲が出てきます。私は篠笛を始めて10年になりましたが、今でも笛の音色や指使いなど工夫を重ねながら、祭りの日を楽しみに練習をしています。また昨年からは篠笛を指導する側として練習に参加させていたたいです。これからも中井町のお祭りを盛り上げていくために、皆で楽しくより良いお囃子をやっていきたいです。